

入所以来の各人の査読付き論文リスト

・入所以降 平成29年6月30日現在

・対象:

- ①: 全文査読を経た学術誌掲載論文 (ジャーナル)
 - ②: 全文査読を経た国際会議議事録掲載論文 (プロシーディングス)
 - ③: ①、②に相当すると見なせる論文 (その他)
- ※ 査読中のものも含む

所属	氏名	主著件数	共著件数	掲載誌・巻・号・頁等	区分	年月日	タイトル	著者 (本人に下線)	主著・共著	備考
構造基盤技術系										
丹羽 敏男	2	21	日本船舶海洋工学学会論文集	ジャーナル	2017	位相差を有する面内二軸繰返し荷重下における面外ガセット溶接継手の疲労亀裂成長挙動	後藤浩二, 清水啓司, 穴井陽祐, <u>丹羽敏男</u>	共著	査読中	
			溶接学会論文集, 第34巻, 第4号	ジャーナル	2016.11	Thickness effect on fatigue strength of welded joint improved by HFMI	T. Iwata, <u>T. Niwa</u> , Y. Tanaka, T. Ando, Y. Anai	共著		
			日本船舶海洋工学学会論文集, 第22号	ジャーナル	2015.12	疲労寿命評価に対するホイッピングの影響に関する研究	岡正義, <u>丹羽敏男</u> , 高木健	共著		
			IIW Doc.XIII-2604-15	プロシーディングス	2015.7	Thickness effect on fatigue strength of welded joint improved by HFMI	T. Iwata, <u>T. Niwa</u> , Y. Tanaka, T. Ando, Y. Anai	共著		
			Marine Structures, Vol.42	ジャーナル	2015.7	Numerical simulation of fatigue crack propagation under biaxial tensile loadings with phase differences	K. Gotoh, <u>T. Niwa</u> , Y. Anai	共著		
			日本船舶海洋工学学会論文集, 第21号	ジャーナル	2015.6	ホイッピングを考慮した疲労強度評価に関する研究	岡正義, <u>丹羽敏男</u> , 高木健	共著		
			OMAE2015-41978	プロシーディングス	2015.6	Practical formula of the shape evolution of a surface crack under fatigue loading	Y. Anai, <u>T. Niwa</u> , K. Gotoh	共著		
			MARSTRUCT2015	プロシーディングス	2015.3	A study on the effect of hull girder vibration on the fatigue strength	M. Oka, <u>T. Niwa</u> , K. Takagi	共著		
			海上技術安全研究所報告, 第14巻, 第3号	その他	2015.1	経年構造の検査・診断技術の開発に関する研究	<u>丹羽敏男</u> , 平方勝, 島田道男, 田中義久, 安藤孝弘, 小島隆志, 高田篤志, 岡正義, 藤本修平, 林原仁志, 穴井陽祐, 高見朋希, 田中義照	主著		
			20th European Conference on Fracture (ECF20)	プロシーディングス	2014.6	Fatigue crack growth behaviour of an out-of-plane gusset welded joints under biaxial tensile loadings with different phases	K. Gotoh, <u>T. Niwa</u> , Y. Anai	共著		
			日本船舶海洋工学学会論文集, 第18号	ジャーナル	2013.12	位相差を有する二軸繰返し荷重条件下における疲労亀裂伝播挙動	後藤浩二, <u>丹羽敏男</u> , 穴井陽祐, 大森徹也, 田中義久	共著		
			IIW Doc.XIII-2494-13	プロシーディングス	2013.9	Thickness effect on fatigue strength of welded joint improved by post weld treatment	T. Iwata, <u>T. Niwa</u> , Y. Tanaka, T. Ando, Y. Anai	共著		
			OMAE2013-10980	プロシーディングス	2013.6	Fatigue crack propagation under biaxial tensile loading - Effect of the phase difference on biaxial loading -	K. Gotoh, <u>T. Niwa</u> , Y. Anai, T. Omori, Y. Tanaka, K. Murakami	共著	Best Paper Award	
			IIW Doc.XIII-2432-12	プロシーディングス	2012.7	Fatigue crack growth behaviour of a Ti-6Al-4V alloy: effect of stress ratio, environment and cathodic polarization	I. Takahashi, <u>T. Niwa</u> , Y. Tanaka, T. Iwata, K. Tamura	共著		
			海上技術安全研究所報告, 第11巻, 第3号	その他	2012.1	船体構造の診断 (検査・修繕の計画) 支援システムの開発	平方勝, 安藤孝弘, 岡修二, <u>丹羽敏男</u>	共著		
			OMAE2008-57958	プロシーディングス	2008.6	On the research and development of floating offshore platform	S. Ishida, Y. Ohkawa, <u>T. Niwa</u> , S. Ohkoshi, K. Kokubun	共著		
			海上技術安全研究所報告, 第7巻, 第3号, 特集号	その他	2007.12	大水深ライザースシステムの安全性に関する研究	田村兼吉, 宇都正太郎, 安藤裕友, 園分健太郎, 前田克弥, 伊藤和彰, 新富恭子, 高橋一比古, <u>丹羽敏男</u> , 田中義久, 牛嶋通雄, 吉成仁志, 千秋貞仁, 渡辺嘉保, 金裕哲, 崎野良比呂	共著		
			日本船舶海洋工学学会論文集, 第5号	ジャーナル	2007.6	船体溶接部に生じる溝状腐食に関する実験的検討	田中義久, 中井達郎, 松下久雄, <u>丹羽敏男</u>	共著		
			日本マリンエンジニアリング学会誌, 第41巻, 第2号	ジャーナル	2006.3	海水中におけるカソード電位を有するTi-6Al-4V合金の疲労き裂伝播特性 - 第1報 大水深ライザースの材料選定に関する研究	<u>丹羽敏男</u> , 田中義久, 高橋一比古, 田村兼吉	主著		
			International Journal of Fatigue, Vol.26	ジャーナル	2004.9	Fatigue life assessment for welded structures without initial defects: an algorithm for prediction fatigue crack growth from a sound site	M. Toyosada, K. Gotoh, <u>T. Niwa</u>	共著		
International Journal of Fatigue, Vol.26	ジャーナル	2004.9	Fatigue crack propagation for a through thickness crack: a crack propagation law considering cyclic plasticity near the crack tip	M. Toyosada, K. Gotoh, <u>T. Niwa</u>	共著					
日本造船学会論文集, Vol.192	ジャーナル	2002.12	原油タンカーの上甲板裏空腔部環境における造船用鋼の腐食および腐食疲労	小林佑規, 田中義久, 後藤英信, <u>丹羽敏男</u>	共著					
Proc. of the ECF-14 in Cracow, Vol.3	プロシーディングス	2002.9	Evaluation of fatigue crack closure from local compliance measurements in structural steel	M. Toyosada, M. Skorupa, <u>T. Niwa</u> , T. Machniewicz, K. Murakami, A. Skorupa	共著					
谷川 文章	0	0								
構造基盤技術研究グループ										
岩田 知明	16	11	日本材料学会誌「材料」	ジャーナル	2017.12	工業用純チタンの疲労強度に及ぼす応力比と切欠の影響	<u>岩田知明</u>	主著	査読意見対応中	
			溶接学会論文集34巻4号	ジャーナル	2016.11	Thickness Effect on Fatigue Strength of Welded Joint Improved by HFMI	<u>岩田知明</u> , 丹羽敏男, 田中義久, 安藤孝弘, 穴井陽祐	主著		
			日本機械学会論文集 (A編) 77巻783号	ジャーナル	2011.11	無電解ニッケルめっきの耐キャピテーション・エロージョン特性に及ぼすリン濃度と熱処理効果	菅澤忍, 秋山繁, 植松進, 柴田俊明, <u>岩田知明</u> , 宮内直樹, 藤田文	共著		
			日本船舶海洋工学学会論文集 (Vol.6)	ジャーナル	2007.12	溶接継手脆性き裂伝播挙動に及ぼす残留応力・靱性の影響 - 溶接継手脆性き裂伝播のシミュレーション (第一報) -	吉成仁志, 粟飯原周二, <u>岩田知明</u>	共著		
			Welding in the World, Vol.50, No.11-12	ジャーナル	2006.9	Fatigue Strength of Welded Joints of SUS316L for Chemical Tanker	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥, 小林佑規	主著		
			Welding in the World, Vol.48, No.7-8	ジャーナル	2004.7	Fatigue Strength of CP Grade 2 Titanium Fillet Welded Joint for Ship Structure	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥	主著		
			軽金属溶接構造協会誌40巻12号	ジャーナル	2002.12	アルミニウム合金船における5083-H321溶接継手の設計耐力	養田和之, <u>岩田知明</u> , 松岡一祥	共著		
			軽金属溶接構造協会誌40巻10号	ジャーナル	2002.10	継手性能	<u>岩田知明</u> , 養田和之, 松岡一祥	主著		
			軽金属溶接構造協会誌39巻7号	ジャーナル	2001.7	チタンすみ肉溶接継手の強度	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥	主著		
			IIW Commission Document (XIII-2604-15)	プロシーディングス	2015.7	Thickness Effect on Fatigue Strength of Welded Joint Improved by HFMI	<u>岩田知明</u> , 丹羽敏男, 田中義久, 安藤孝弘, 穴井陽祐	主著		
			IIW Commission Document (XIII-2494-13)	プロシーディングス	2013.9	Thickness Effect on Fatigue Strength of Welded Joint Improved by Post Weld Treatment	<u>岩田知明</u> , 丹羽敏男, 田中義久, 安藤孝弘, 穴井陽祐	主著		
			IIW Commission Document (XIII-2432-12)	プロシーディングス	2012.7	Fatigue crack growth behaviour of a Ti-6Al-4V alloy: Effect of stress ratio, environment and cathodic polarization	高橋一比古, 丹羽敏男, 田中義久, 田村兼吉, <u>岩田知明</u>	共著		
			IIW Commission Document (XIII-2234-08)	プロシーディングス	2008.7	Misalignment effect on fatigue strength of CP titanium butt-welded joints	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥	主著		
			Ti-2007 Science and Technology, The Japan Institute of Metals (Vol.2)	プロシーディングス	2007.12	Misalignment effect on fatigue strength of CP titanium butt-welded joints	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥	主著		
			IIW Commission Document (XIII-2067-05)	プロシーディングス	2005.7	Fatigue Strength of Welded Joints of SUS316L for Chemical Tanker	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥, 小林佑規	主著		
			Ti-2003 WILEY-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA (Vol.5)	プロシーディングス	2003.7	Fatigue Strength of CP Grade 2 Titanium Fillet Welded Joint for Ship Structure	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥	主著		
			IIW Commission Document (XIII-1963-03)	プロシーディングス	2003.7	Fatigue Strength of CP Grade 2 Titanium Fillet Welded Joint for Ship Structure	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥	主著		
			Proceedings of 18th Annual Conference of International Titanium Association	プロシーディングス	2002.10	Buckling Strength of CP Grade2 Titanium Hull Structure	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥	主著		
			Proceedings of 17th Annual Conference of International Titanium Association	プロシーディングス	2001.10	Effect of Thickness on Fatigue Strength of Titanium Fillet Welded Joint	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥	主著		
			Proceedings of 16th Annual Conference of International Titanium Association	プロシーディングス	2000.10	Fatigue Strength of Titanium for Ship Structure	<u>岩田知明</u> , 松岡一祥	主著		
			海上技術安全研究所報告・第11巻・第1号	その他	2012.6	接着剤を用いた腐蝕技術に関する調査研究	秋山繁, <u>岩田知明</u> , 島田道男, 安藤孝弘, 村上睦尚, 穴井陽祐, 林原仁志, 田中義照	共著		
			海上技術安全研究所報告・第11巻・第3号	その他	2012.1	船舶産業の熟練した技能を有する作業者の減少に対応した新しい生産システムの実現に必要な基盤技術の開発のための研究 - 建造効率向上に資する技能伝承教材とシステムの開発 -	村上睦尚, <u>岩田知明</u> , 松尾宏平, 穴井陽祐, 林原仁志, 藤本修平	共著		
			海上技術安全研究所報告・第12巻・第1号	その他	2011.6	無電解ニッケル-リンめっきのキャピテーション・エロージョン性および生物付着性	菅澤忍, 秋山繁, 植松進, 柴田俊明, <u>岩田知明</u> , 宮内直樹, 藤田文	共著		
			海上技術安全研究所報告・第4巻・第5号	その他	2004.12	FRPブロック化技術の研究	安藤孝弘, 田中義照, 佐久間正明, <u>岩田知明</u> , 勝又健一, 林慎也, 松岡一祥	共著		
			海上技術安全研究所報告・第3巻・第3号	その他	2003.9	チタン製防振板の座屈崩壊強度	安藤孝弘, 田中義照, 佐久間正明, <u>岩田知明</u> , 松岡一祥	共著		
			海上技術安全研究所報告・第2巻・第3号	その他	2003.1	船体の寿命評価に関する研究	松岡一祥, 田中義照, 竹本博安, 川野始, 河邊寛, 佐久間正明, 岡修二, 平方勝, <u>岩田知明</u> , 山田安平, 岡正義, 安藤孝弘, 宮本武, 秋山, 前中浩, 植松進, 吉井徳治, 高橋一比古, 牛嶋道雄, 高田篤志, 小林佑規, 田中義久, 後藤英信, 千田哲也, 高橋千織, 柴田俊明, 島田道男, 成瀬健, 橋爪豊	共著		
			海上技術安全研究所報告・第1巻・第2号	その他	2001.10	析出強化型材料の耐食性に及ぼす微細構造の影響に関する基礎的研究	高橋千織, 松岡一祥, 千田哲也, 吉井徳治, 牛嶋道雄, <u>岩田知明</u> , 北村茂, 古谷典子, 矢野不二夫	共著		
菅澤 忍	7	20	日本航海学会論文集 第86号、325-334頁	ジャーナル	1992.3	航行環境情報の表示方式に関する一考察 - II - 実船調査によるARPA情報の解析 -	有村信夫, <u>菅澤忍</u> , 他4名	共著		

・入所以降 平成29年6月30日現在

・対象:

- ①: 全文査読を経た学術誌掲載論文 (ジャーナル)
 - ②: 全文査読を経た国際会議議事録掲載論文 (プロシーディングス)
 - ③: ①、②に相当すると見なせる論文 (その他)
- ※ 査読中のもも含む

所属	氏名	主著件数	共著件数	掲載誌・巻・号・頁等	区分	年月日	タイトル	著者 (本人に下線)	主著・共著	備考
構造基礎技術系				船研報告 29巻3号、13-32頁	その他	1992.5	航行環境情報の表示方式に関する研究 - 音声を用いたARPAの警報指示装置について -	有村信夫、菅澤 忍、他4名	共著	
				日本航海学会論文集 第87号、89-97頁	ジャーナル	1992.9	航行環境情報の表示方式に関する考察-III - 音声支援システムについて -	有村信夫、菅澤 忍、他3名	共著	
				船研報告 29巻6号、9-26頁	その他	1992.11	船舶の建造の自動化に関する一考察	田中邦彦、菅澤 忍、他1名	共著	
				日本航海学会論文集 第89号、237-243頁	ジャーナル	1993.9	船舶諸元特性の統計解析に関する一考察	有村信夫、菅澤 忍、他3名	共著	
				日本航海学会論文集 第91号、195-201頁	ジャーナル	1994.9	衝突予防支援装置の開発 - 航行環境評価指標のモデル化 -	有村信夫、菅澤 忍、他2名	共著	
				日本航海学会論文集 第92号、47-55頁	ジャーナル	1995.3	海上における霧中信号について	山田一成、菅澤 忍、他2名	共著	
				船研報告 33巻5号、1-37頁	その他	1997.1	マン・マシン・インターフェース・システムの自律型プラントの 適応性評価	松岡 猛、菅澤 忍、他5名	共著	
				Japanese Journal of Applied Physics Vol.41 (2002) pp.3299-3307	ジャーナル	2002.5	Time Difference Measurement of Ultrasonic Pulses Using Cross- correlation Function between Analytic Signals	S. Sugawara	主著	
				電子情報通信学会論文誌 Vol.J85-A (2002)、1356- 1359頁	ジャーナル	2002.11	対称なパワースペクトルを持つ信号の自己相関関数のゼロ点の性 質	菅澤 忍	主著	
				Japanese Journal of Applied Physics Vol.43 (2004) pp.3109-3114	ジャーナル	2004.6	Measurements of Elastic Properties of Plasma-Sprayed Coatings Using Bulk Ultrasonic Pulses	S. Sugawara	主著	
				海上技術安全研究所報告 第5巻1号、1-37頁	その他	2005.4	船底塗料用防汚物質の海中挙動に関する研究	千田哲也、菅澤 忍、他6名	共著	
				Japanese Journal of Applied Physics Vol.44 (2005) pp.4301-4308	ジャーナル	2005.6	Analysis of Propagation of Ultrasonic Pulses in Dispersive Media Using Group Delay Concept	S. Sugawara	主著	
				International Journal of Environmental and Analytical Chemistry, Taylor & Francis Vol.86 Nos.1-2、pp.83-89	ジャーナル	2006.1	Direct Analysis for Zinc Pyrrhione Using HPLC-MS	Y. Yamaguchi, S. Sugawara、他6名	共著	
				Journal of Chromatography A Vol.1144 No.2、pp175- 182	ジャーナル	2007.3	Aqueous phototransformation of zinc pyrrhione Degradation kinetics and byproduct identification by liquid chromatography- atmospheric pressure chemical ionisation mass spectrometry	V.A. Sakkas, S. Sugawara、他3名	共著	
				Japanese Journal of Applied Physics Vol.46 (2007) pp.4583-4588	ジャーナル	2007.5	Evaluation of Elastic Constants of Antifouling Paint Film Using Group Delay Spectrum Method	S. Sugawara, T. Shibata	主著	
				International Symposium ON SHIPBUILDING TECHNOLOGY (ISST 2007) -Fabrication and Coatings-, pp.93-98	プロシーディングス	2007.9	Space and time distribution of antifouling agent in aquatic environment	K. Shibata, S. Sugawara、他4名	共著	
				マリンエンジニアリング Vol. 44 (2009) No.2、112- 117頁	プロシーディングス	2009.2	実船による船底塗料からの防汚物質の溶出速度測定	富田 修、菅澤 忍、他5名	共著	
				海上技術安全研究所報告 第9巻2号、67-73頁	その他	2009.9	高精度化学分析による微量物質の定量	小島隆志、菅澤 忍、他5名	共著	
				International Symposium on Ship Design & Construction2009(ISSDC09) -Environment-Friendly Ship-	プロシーディングス	2009.9	Direct Measurement of the Leaching Rate of Antifouling Agents from Ship's Hull	R. Kojima, S. Sugawara、他7名	共著	
				日本船舶海洋工学会論文集第12号、125-132頁	ジャーナル	2011.3	非粉塵飛散型のセメント焼成用FRPリサイクル製品の開発	秋山 繁、菅澤 忍、牛嶋道雄	共著	
Japanese Journal of Applied Physics Vol.50 (2011) pp.07HE03_1-6	ジャーナル	2011.7	Observation of the microstructural deformation behavior in metals caused by cavitation impact	S. Sugawara, S. Akiyama, S. Uematsu	主著					
日本機械学会論文A第77巻783号、1976-1985頁	ジャーナル	2011.12	無電解ニッケルめっきの耐キャビテーション・エロージョン特性 に及ぼすリン濃度と熱処理効果	菅澤 忍、他6名	主著					
高温学会誌第37巻6号、298-305頁	ジャーナル	2011.12	セラムック溶射皮膜構造評価法としての今日日にてーション・エロ オーション試験の有効性	植松 進、菅澤 忍、他6名	共著					
海上技術安全研究所報告 第12巻1号、1-16頁	その他	2012.6	船体防汚塗料による生物付着防止効果の計測手法に関する研究	亀山道弘、菅澤 忍、他5名	共著					
マリンエンジニアリング Vol. 48 (2013) No.3、383- 390頁	ジャーナル	2012.10	Spatial, Seasonal, and Temporal Variation of Antifouling Agent Concentration in a Small Marina, Predicted by 3D Unsteady Numerical Model	K. Shibata, S. Sugawara、他5名	共著					
海上技術安全研究所報告 第13巻1号、1-12頁	その他	2013.11	噴霧塗装の効率向上のための基礎的研究	藤本修平、菅澤 忍、他4名	共著					
松尾 宏平	5	3	海上技術安全研究所報告10(1)	その他	2010	有害物質インベントリに関する調査研究	成瀬健、松岡一祥、瀬尾美智子、松尾宏平、林慎也、砂 川祐一	共著		
			日本機械学会論文集C編、76巻771号	ジャーナル	2010	船舶の曲り外板製造を支援する新しい外板展開システムの開発	松尾宏平、松岡一祥	主著		
			海上技術安全研究所報告 11(3)	その他	2015.3	船舶産業の熟練した技能を有する作業者の減少に対応した新しい 生産システムの実現に必要な基礎技術の開発のための研究	村上 睦尚、岩田 知明、松尾 宏平、穴井 陽祐、林原 仁志、藤本 修平、松岡 一祥	共著		
			the 23rd CIRP Design Conference	プロシーディングス	2013.5	Application of AR Technologies to Sheet Metal Forming in Shipbuilding	Kohei Matsuo, Uwe Rothenburg, Rainer Stark	主著		
			PRADS 2013	プロシーディングス	2013.10	Development and Practical Introduction of a Support System for a Cold Bending Work in Shipyard, The 12th International Symposium on Practical Design of Ships and Other Floating Structures	松尾宏平、藤本修平	主著		
			海上技術安全研究所 第14巻第1号	その他	2014.6	造船工程へのAR技術の応用・実用化に関する研究	松尾宏平、藤本修平、白石耕一郎	主著		
			日本機械学会論文集 81(825)	ジャーナル	2015	AR技術を用いた配管施工支援システム	白石耕一郎、松尾宏平	共著		
			海上技術安全研究所 第15巻第4号	その他	2015.3	曲率線展開システム及びプレス施工支援システム	松尾宏平、藤本修平	主著		
			日本風力エネルギー学会論文集	ジャーナル	査読中	加速度計測による異常被雷検知システムの基礎検討	藤本修平、山根健次、櫻井昭男、島田道男、赤星貞 夫	主著		
			日本風力エネルギー学会論文集、Vol.40、No.2、 pp.19-25	ジャーナル	2016.8	各種物理量測定による風車ブレードの異常被雷検知システムの検 討	藤本修平、山根健次	主著		
藤本 修平	8	6	実験力学、Vol.14、No.3、pp.141-146	ジャーナル	2014.9	CFRP製のカエデの種型風車の大型風洞による風車特性に関する実 験的研究	島田邦雄、三好剛大、高松玲紀、藤本修平	共著		
			日本船舶海洋工学会論文集、Vol.16、pp.189-196	ジャーナル	2012.12	塗料の低VOC化による塗装性能の向上効果	藤本修平、村上睦尚、山根健次、松岡一祥、林原仁 志	主著		
			The Ninth JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference, Okinawa	プロシーディングス	2017.10	Observation of shear-thinning droplet impact simulating marine paint coating process	藤本修平	主著	発表決定	
			The Ninth JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference, Okinawa	プロシーディングス	2017.10	Visualization study on dissolution behavior of liquid CO2 with hydrate under high pressure condition	藤川凛太郎、馬駿、藤本修平、金子暁子、阿部豊	共著	発表決定	
			International Conference on Lightning & Static Electricity 2017, Nagoya	プロシーディングス	2017.9	Detection of lightning damage on wind turbine blade skin by measurement of transient acceleration change	藤本修平、山根健次、櫻井昭男、島田道男、赤星貞 夫	主著	発表決定	
			13th International Conference on Greenhouse Gas Control Technologies (GHGT13), Lausanne, Switzerland	プロシーディングス	2016.11	Study on dissolution process of liquid CO2 into water under high pressure condition for CCS	馬駿、阿部豊、金子暁子、藤本修平、村上睦尚	共著		
			10th International Workshop on High Voltage Engineering & Japan-Korea Joint Symposium on Electrical Discharge and High Voltage Engineering, Miyazaki	プロシーディングス	2016.11	Detection of lightning damage on wind turbine blade by measurement of transient elastic wave	藤本修平、山根健次、櫻井昭男、島田道男、赤星貞 夫	主著		
			27th Annual Conference on Liquid Atomization and Spray Systems, Brighton, UK	プロシーディングス	2016.9	Observation of impact of shear-thinning droplet simulating actual marine paint	藤本修平	主著		
			12th International Conference on Greenhouse Gas Control Technologies (GHGT12), Austin, Texas, USA	プロシーディングス	2014.10	Dissolution properties of CO2 in the high pressure environment equivalent to 3500m deep sea	小林慶哉、阿部豊、金子暁子、山根健次、村上睦 尚、藤本修平	共著		
			26th Annual Conference on Liquid Atomization and Spray Systems, Bremen, Germany	プロシーディングス	2014.9	Statistical characteristics of motion of liquid particles in airless spray	藤本修平、熊谷 一郎	主著		
林原 仁志	5	2	材料と環境 第59巻11号 430-435頁	ジャーナル	2010.11	304ステンレス鋼の大気中塩化物イオン腐食割れ進展速度の温度依存 性	林原仁志、葉正己、水谷義弘、谷純一	主著		
			Proceedings of International society of offshore and polar engineers (ISOPE) 2012	プロシーディング	2012.6	Study on the Pressured Inert Gas System in Ballast Tank	林原仁志、村上睦尚、岡修二、平方勝、山根健次	主著		
			博士学位論文	学位論文	2016.9	電気化学インピーダンス法によるバラスタタンク防汚塗料の劣化 診断に関する研究	林原仁志	主著		
			ISJ International Vol.56 No.11 p.2029-2036	ジャーナル	2016.11	Evaluation of Epoxy Coating for Ballast Tanks under Thermal Cycling by Electrochemical Impedance Spectroscopy	林原仁志、多田英司、西方篤	主著		
			Electrochimica Acta 投稿中	ジャーナル	投稿中	Monitoring the Early Stage of Degradation of Epoxy-coated Steel for Ballast Tank by Electrochemical Impedance Spectroscopy	林原仁志、多田英司、西方篤	主著		
			Proceedings of 5th International Conference of Ballast Water Management (ICBWM) 2010	プロシーディング	2010.11	A Development of the Ballast Water Treatment System Using Waste Heat of Main-Engine (1st Report)	村上睦尚、林原仁志、島田道男、秋山繁、山根健 次、伊飼通明、藤木信彦、綾威雄、猪原祥行	共著		

・入所以降 平成29年6月30日現在

・対象:

- ①: 全文査読を経た学術誌掲載論文 (ジャーナル)
- ②: 全文査読を経た国際会議議事録掲載論文 (プロシーディングス)
- ③: ①、②に相当すると見なせる論文 (その他)

※ 査読中のものも含む

所属	氏名	主著件数	共著件数	掲載誌・巻・号・頁等	区分	年月日	タイトル	著者 (本人に下線)	主著・共著	備考	
構造基盤技術系				日本船舶海洋工学会論文集 第16巻 189-196頁	ジャーナル	2012.12	塗料の低VOC化による塗装性能の向上効果	藤本修平、村上陸尚、山根健次、松岡一祥、林原仁志	共著		
	竹澤 正仁	1	0	ACM Transactions on Graphics (TOG) - Proceedings of ACM SIGGRAPH Asia 2016, Volume 35 Issue 6, November 2016.	プロシーディングス	2016. 11	Fabrication of freeform objects by principal strips	竹澤正仁、今井琢麻、志田健太郎、前川卓	主著		
保守管理研究グループ	穴井 陽祐	4	13	Proceedings of Proceedings of The 21st Asian-Pacific Technical Exchange and Advisory Meeting on Marine Structures (TEAM2008)	プロシーディングス	2008.10	An experimental study of ultimate torsional strength of a container ship	Y. Tanaka, T. Ando, <u>Y. Anai</u> , Y. Hashizume, M. Sakuma, T. Yao, M. Fujikubo, K. Iijima	共著		
				Proceedings of the 19th International Society of Offshore and Polar Engineers (ISOPE2009)	プロシーディングス	2009.6	Longitudinal Strength of Container Ships under Combined Torsional and Bending Moments	Y. Tanaka, T. Ando, <u>Y. Anai</u> , T. Yao, M. Fujikubo, K. Iijima	共著		
				Proceedings of the 20th International Society of Offshore and Polar Engineers (ISOPE2010)	プロシーディングス	2010.6	Development of a new device of sloshing load in tank	<u>Y. Anai</u> , T. Ando, N. Watanabe, C. Murakami, Y. Tanaka	主著		
				Proceedings of the ASME 2011 30th International Conference on Ocean, Offshore and Arctic Engineering(OMAE 2011)	プロシーディングス	2011.6	Estimation of the Shape Evolution and the Growth History of An Embedded Crack by Fatigue Loading	K. Gotoh, K. Harada, <u>Y. Anai</u>	共著		
				The International Conference on Advanced Technology in Experimental Mechanics 2011 (ATEM'11)	プロシーディングス	2011.9	A Conventional Growth Estimation Formula of the Representative Surface Crack Replacing Plural Surface Cracks Generated at the Sound Stress Concentration Sites	<u>Y. Anai</u> , K. Murakami, K. Gotoh	主著		
				日本船舶海洋工学会論文集、第16号	ジャーナル	2012.12	複合荷重下における船体梁の縦曲げ最終強度に関する研究 - その1 縮尺模型による逐次崩壊試験-	田中義照、安藤孝弘、穴井陽祐、飯島一博、藤久保昌彦、矢尾哲也	共著		
				Proceedings of the ASME 2011 32nd International Conference on Ocean, Offshore and Arctic Engineering(OMAE 2013)	プロシーディングス	2013.6	Fatigue Crack Propagation Under Biaxial Tensile Loading - Effect of the Phase Difference on Biaxial Loading	K. Gotoh, T. Niwa, <u>Y. Anai</u> , T. Omori, Y. Tanaka, K. Murakami	共著	Best Paper Award Material Technology Symposium	
				海技研報告、第13巻、第2号、25-39頁、基調論文	その他	2013.6	複合荷重下における船体梁の縦曲げ最終強度に関する研究	田中義照、安藤孝弘、穴井陽祐、小川寛明、飯島一博、藤久保昌彦、矢尾哲也	共著		
				日本船舶海洋工学会論文集、第18号	ジャーナル	2014.3	位相差を有する二軸繰り返し載荷条件下における疲労亀裂伝播挙動	後藤浩二、丹羽敏男、穴井陽祐、大森徹也、田中義久	共著		
				20th European Conference on Fracture (ECF20)	ジャーナル	2014.6	Fatigue crack growth behaviour of an out-of-plane gusset welded joints under biaxial tensile loadings with different phases	K. Gotoh, T. Niwa, <u>Y. Anai</u>	共著		
				Proceedings of Grand Renewable Energy 2014 International Conference and Exhibition (GRE2014)	プロシーディングス	2014.7	Experimental Study on Distribution of Internal Forces in Supporting Structure of Floating Offshore Wind Turbine	<u>Y. Anai</u> , C. Hirao, K. Shimozato, R. Matsui, S. Ishida, S. Inoue	主著		
				Marine Structures 42 (2015)	ジャーナル	2015.4	Numerical simulation of fatigue crack propagation under biaxial tensile loadings with phase differences	K. Gotoh, T. Niwa, Y. Anai	共著		
				Proceedings of the 34th International Conference on Ocean, Offshore and Arctic Engineering (OMAE2015)	プロシーディングス	2015.5	Practical Formula of the Shape Evolution of a Surface Crack under Fatigue Loading	<u>Y. Anai</u> , K. Gotoh, T. Niwa	主著		
	Proceedings of the 25th International Society of Offshore and Polar Engineers (ISOPE2015)	プロシーディングス	2015.6	Study on Stress Monitoring Method in Supporting Structure of Floating Offshore Wind Turbine	C. Hirao, <u>Y. Anai</u> , S. Ishida, S. Inoue	共著					
	IIW Commission Document	その他	2015.6	Thickness Effect on Fatigue Strength of Welded Joint Improved by HFMI	T. Iwata, T. Niwa, Y. Tanaka, T. Ando, <u>Y. Anai</u>	共著					
	International Society of Offshore and Polar Engineers, Vol. 26, No.3, pp.219-224	ジャーナル	2016.9	Study of Stress-Monitoring Method in Supporting Structure of Floating Offshore Wind Turbine	S. Hirao, <u>Y. Anai</u> , S. Ishida, S. Inoue	共著					
	溶接学会論文集、第34巻、第4号、pp.249-259	ジャーナル	2016.11	Thickness Effect on Fatigue Strength of Welded Joint Improved by HFMI	T. Iwata, T. Niwa, Y. Tanaka, T. Ando, <u>Y. Anai</u>	共著					
	津村 秀一	0	0								
	谷口 智之	0	16								
	高田篤志	0	16	日本船舶海洋工学会論文集	ジャーナル	投稿中		セルオートマンによる塗膜下腐食シミュレーション手法に関する研究 (第2報: バラストタンク内エッジ腐食の解析)	大沢直樹、塩谷和彦、高田篤志、竹野成流、片山志乃、織田拓哉	共著	
				日本船舶海洋工学会論文集 Vol. 23(2016) p. 139-151	ジャーナル	2016.8	セルオートマンによる塗膜下腐食シミュレーション手法に関する研究 (第1報: スクライブ塗装鋼板の解析)	大沢直樹、狩野泰秀、川村恭己、高田篤志、塩谷和彦、竹野成流、片山志乃	共著		
				日本船舶海洋工学会論文集 Vol. 21(2015) p. 93-99	ジャーナル	2015.6	エポキシ塗膜鋼板塗膜下腐食モニタリングのための鉄2価イオン感受性蛍光プローブの開発	大沢直樹、高田篤志、小島隆志、高野翔	共著		
				Fatigue and Fracture of Engineering Materials and Structures, Vol.26, No.5 P.439-448	ジャーナル	2003.5	Fatigue behaviour of a box-welded joint under biaxial cyclic loading: Effects of biaxial load range ratio and cyclic compressive loads in the lateral direction	I. Takahashi, <u>A. Takada</u> , M. Ushijima, S. Akiyama	共著		
				日本造船学会論文集(188) P.599-607	ジャーナル	2000.12	2軸繰り返し荷重下における角回し溶接継手の疲労挙動 (第2報) 2軸荷重レンジ比および横方向繰り返し圧縮荷重の影響	高橋 一比古、高田 篤志、秋山 繁、牛嶋 通雄、前中 浩	共著		
Fatigue and Fracture of Engineering Materials and Structures, Vol.22, No.10 P.869-877				ジャーナル	1999.10	Fatigue behaviour of a box-welded joint under biaxial cyclic loads	I. Takahashi, M. Ushijima, <u>A. Takada</u> , S. Akiyama, H. Maenaka	共著			
日本造船学会論文集(184) P.321-327				ジャーナル	1998.10	2軸繰り返し荷重下における角回し溶接継手の疲労挙動	高橋 一比古、高田 篤志、秋山 繁、牛嶋 通雄、前中 浩	共著			
日本造船学会論文集 (179), P.413-423				ジャーナル	1996.6	重畳ランダム荷重下におけるアルミニウム合金溶接継手の疲労寿命推定(総報) : 高周波成分の影響	高橋 一比古、前中 浩、高田 篤志	共著			
Proc. 6th International Conference on Marine Structures(MARSTRUCT 2017)				プロシーディングス	2017.5	Study on Under-film Corrosion Simulation of Free Edges in Water Ballast Tanks	N. Osawa, S. Takeno, S. Katayama, T. Oda & A.B.A. Halim, K. Shiotani, <u>A. Takada</u>	共著			
Proceedings of The 13th International Symposium on Practical Design of Ships and Other Floating Structures (PRADS2016),				プロシーディングス	2016.9	Fundamental Study on Under-film Corrosion Simulation Method Based on Cellular Automaton	Naoki Osawa, Yasuhide Kanou, Yasumi Kawamura, <u>Atsushi Takada</u> , Kazuhiro Shiotani, Seiru Takeno, Shino Katayama	共著			
Proc. The 35th Int. Conf. on Ocean, Offshore and Arctic Engineering (OMAE2016)				プロシーディングス	2016.6	Development of Under-Film Corrosion Simulation Method Based on Cellular Automaton	Naoki Osawa, Yasuhide Kanou, Yasumi Kawamura, <u>Atsushi Takada</u> , Kazuhiko Shiotani, Seiru Takeno, Shino Katayama and Kristov Ivan William	共著			
Proc. 25th Int. Ocean and Polar Engineering Conference (ISOPE2015) (2015)				プロシーディングス	2015.6	Development of Fe(II) Fluorescent Indicator for Under-Film Corrosion Monitoring of Water Ballast Tank.	Osawa, N., Kojima, R., <u>Takada, A.</u> , Takano, S., Katayama, S	共著			
Proc. 25th Int. Ocean and Polar Engineering Conference (ISOPE2015) (2015)				プロシーディングス	2015.6	Onboard Study on Deterioration of Coated Steel in Water Ballast Tank	Sakashita, S., Shiotani, K., Kashima, K., Murakoshi, S., Fukunaga, K., Baba, T., Takai, A., <u>Takada, A.</u> , Osawa, N.	共著			
The Proceeding of the 28th Asian-Pacific Technical Exchange and Advisory Meeting on Marine Structures)				プロシーディングス	2014.10	Fundamental Study on the Non-Destructive Monitoring of Under-Film Corrosion of Coated Steel Panels in Water Ballast Tanks	Naoki OSAWA, Ryuji KOJIMA, <u>Atsushi TAKADA</u> and Sho TAKANO	共著			
Proc. The 7th Int. Conf. on Thin-Walled Structures (ICTWS 2014)				プロシーディングス	2014.9	Characterization of Deterioration Phenomenon in Ballast Tank	Shiotani, K., Kashima, K., Sakashita, S., Fukunaga, K., Baba, T., Takai, A., <u>Takada, A.</u> , Osawa, N	共著			
海上技術安全研究所報告、第14巻、第3号				その他	2015.1	経年構造の検査・診断技術の開発に関する研究	丹羽敏男、平方勝、島田道男、田中義久、安藤孝弘、小島隆志、高田篤志、岡正義、藤本修平、林原仁志、穴井陽祐、高見朋希、田中義照	共著			
計					46						